

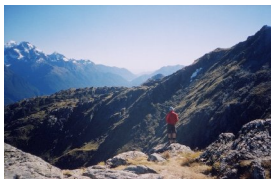
ユーラシア大陸14°の旅

日本からロンドンまで・12000km・200日・寝転がったチャリで

企画計画書



www.14degrees.org



1. 計画趣旨

まず、ユーラシア大陸はニュージーランド人にとってはもちろん、日本人にとっても遠い存在です。特に中央アジアの国々は独立後 10 年経ても国情の不安定が続き、日本から飛行機で 5 時間でいけるという事実にもかかわらず、未だに外国の訪問者が少ない現状にあり、多くの人にとって未知の世界です。

そしてロバートが日本で過ごした時間は 4 年を数えますが、依然としてもっとも感動を感じるの周りの人の人間性だということです。文化・習慣が異なっても、人間が求める安定、平和、幸せという基本的なものは変わらないと思っています。この事実を認めれば、国籍や理念とは関係なく、誰とでも有意義な関係を持つことができるはずで

す。しかし国際化の進展にもかかわらず、この事実を認めない人は少なくありません。ユーラシア大陸の多くの民族と接し、その人間性を確かめ、報告したいと思い、この旅を企画しました。

アドベンチャーを求め、リカンベント型自転車という革新的な技術を信頼し、人間の基本的な善良さと人間性を信じ、ロバートが地理的にも、精神的にも遠いユーラシア大陸へ生まれて初めて長距離自転車アドベンチャーに旅立ちします。

2. 目的

(ア) 地球にやさしい乗り物であるリカンベント型自転車で、ユーラシア大陸の北緯 38 度と北緯 52 度 (14 度の差) の間を走行し、そこに住む民族を理解し、特色のある古シルクロードを含む地帯の地形と自然を観察し、そこで味わった人間性をデジタル上 (www.14degrees.org) に記録を残すこと

(イ) 「世界の屋根」と呼ばれるパミール高原 (平均標高 5,000m) を、前例のないリカンベント型自転車により単独完全走破すること

(ウ) 冬季のスイスアルプスをリカンベント型自転車により単独完全走破すること



3. 期間及び場所

(ア) 期間： 2006 年 7 月 ~ 2007 年 2 月の約 8 ヶ月

(イ) 出発： 2006 年 7 月 17 日 (月・祝)

午後 12:30 博多港発カメリアライン（フェリー）にて釜山に渡る予定

- (ウ) 場所： 大韓民国、中華人民共和国、カザフスタン共和国、キルギス共和国、タジキスタン共和国、ウズベキスタン共和国、トルクメニスタン、アゼルバイジャン共和国、グルジア、トルコ共和国、ギリシャ共和国、アルバニア共和国、セルビア・モンテネグロ、クロアチア共和国、スロベニア共和国、イタリア共和国、スイス連邦、ドイツ連邦共和国、オランダ王国、ベルギー王国、英国

4. ユーラシア大陸について

百科事典ウィキペディアより：

ユーラシア大陸は、アフリカ・ユーラシア大陸のうちスエズ地峡の東側の部分を占める大陸をいう。アフリカ大陸とは陸続きになる。アジアとヨーロッパにまたがる。モンゴル高原から黒海北岸のキプチャク平原にいたる地域を中央ユーラシアと呼ぶ。遊牧民の諸国家と定住民の諸国家が中央ユーラシアをめぐる興亡した。また、中央ユーラシアは東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパを結ぶ陸の交易路の結節地帯であり、経済・文化の交流が盛んにおこなわれた地域でもある。



(ア) リカンベント型自転車によるユーラシア大陸横断の前例

調べたところ、記録に残されているのは2回のみです。2回ともオーストラリアの冒険家による横断でした。第1回目は1999年、シベリア経由でモスクワから北京までの14ヶ月、10,000kmの壮大な計画でした（www.timcopejourneys.com/index.pl?page=43）。第2回目は2004年、中央アジア経由でトルコから香港までの9ヶ月12,000kmのアドベンチャーでした（www.centralasiabikeride.com）。

(イ) パミール高原のリカンベント型自転車による完全走破

前例はありません。パミールハイウェイと呼ばれる一本の道の750kmを、タジキスタン共和国の最東北にあるキルギス共和国との国境からタジキスタン共和国の首都であるドゥシャンベまで走破します。標高4600mの高さもある峠（Ak-Baytal Pass）をはじめ、アフガニスタンと隣接する地帯（道路上の多数の兵隊チェックポイント）、舗装していない道路、孤独などとの戦いが主なチャレンジです。

5. ユーラシア大陸14度の旅の定義について

今回の走行ルートは出発地の釜山から目的地のロンドンまでほとんどすべて北緯38度

と北緯 52 度の間を通り抜けます。その角度の差は 14 度ですから、「ユーラシア大陸 14 度の旅」の名称が生まれました。中国での列車の距離を除いて、実際にリカンベントでこぐ距離はおよそ 12,000 k m です。列車に乗る距離の 3000 k m と合わせて総距離 15,000 k m の旅になります。

6. 日程及びルート

(ア) 韓国からウルムチまで (7 月中旬 ~ 8 月下旬)

最初のステージで、ある意味で準備のステージです。韓国という国は日本と似ていて、設備が整っていて、自転車の走行にそれ程苦労しないはず。重い荷物を負わせた自転車に足をゆっくり慣らす期間でもあります。インチョン湾から中国にフェリーで渡り、北京にたどり着いたら中央アジアの各国に必要なビザの取得の作業を開始します。必要なビザを取得するのにおそらく 2 週間ほどかかると考えられます。

また、北京からウルムチまでは残念ながら列車で行かざるを得ません。なぜなら、タジキスタンのパミールハイウェイの通行可能な季節は春・夏・秋に限るからです。冬が訪れる前にタジキスタンに着くために、およそ 3000 k m の距離を列車で行く必要があります。

(イ) ウルムチからイスタンブールまで (8 月下旬 ~ 1 1 月中旬)

本格的な長距離自転車ツーリングのステージである第 2 ステージは中国の西北地方にあるウルムチ市からスタート。ここからは毎日少しずつ未知の世界へと足を伸ばします。一年前に世界地図にカザフスタンを指せといわれてもわからなかったのに、いにしえを辿り、歴史深い中央アジアに入り込みます。

遊牧のルーツを持つ諸民族が住むカザフスタンとキルギスを通り、いよいよシルクロードのもっとも危険な地帯であるタジキスタンのパミール高原に入り、最終的に 800 年前に冒険家マルコポーロが旅をしたウズベキスタンとトルクメニスタンへとつながります。トルクメニスタンの入国在留期間制限の厳しさのために、現地の運転手を雇って車でカスピ海まで通過しないといけない可能性があります。カスピ海をフェリーで渡り、ヨーロッパでもない、中東でもない、多文化的なアゼルバイジャンとグルジアに入ります。

この第 2 ステージはイスタンブールで終わります。以前、ロバートが日本に留学した時の



ホームステイ先の両親が11月13日にイスタンブールに来る予定ですので、頑張ってその日までにイスタンブールまでたどり着かないといけません。知らない国での劇的な再会となるはずですよ。



(ウ) イスタンブールからロンドンまで(11月中旬～2月下旬)

ビザの心配をすることもなくなり、ヨーロッパへ入ります。まずは地中海を代表するギリシャです。

そして近代の内戦で傷跡が残されているアルバニア、セルビア・モンテネグロ、クロアチアを通過し、先進国によく入れて一安心です。最近観光客の人気を集めているスロベニアを通過し、ロマンチックなイタリアに入ります。イタリアに入ったら、パミール高原を走破したのはもう3ヶ月前のことになりますが、次のチャレンジはそれに負けないくらいきついのです。今度はイタリア側から真冬のスイスアルプス横断です。主な道路が車両通行止めになっていることが考えられますので、裏道を探し、何とか横断しなければなりません。

スイスに住んでいる知人のところでスイスの家庭の雰囲気味わった後、ドイツへと向かいます。ドイツを通過し、オランダやベルギーに入るとリカンベント型自転車も珍しくなくなってきます。ベルギーからイギリスにフェリーで渡り、終点ロンドンのトラファルガー・スクエアに到着し、ユーラシア大陸14°の旅も終わりです。

7. 行動者プロフィール

Robert John Thomson

ロバート(名前) ジョン(ミドルネーム) トムソン(名字)

生年月日 1980(昭和55)年6月12日

出身地 ニューージーランド国インバカーギル市

身長 179cm

体重 75kg

カンタベリー大学(日本語・日本文化専攻)卒業、使用言語:英語、日本語、(中国語復習中)、(ロシア語勉強中)、現在大分県別府市在住、2年間大分県旧天瀬町にて国際交流員として勤務経験、現在立命館アジア太平洋大学(APU)の契約職員、趣味は

パソコン¹、歌²、アウトドア全般(大分県アウトドアサークル「Outdoor Channel」会員)。

8. 参考資料

シルクロードと中央アジアの国々 「地球の歩き方」編集室 2005年発行

Central Asia Bike Ride Nat and Chris Hatherly www.centralasiabikeride.com



Corax, Adventures and Expeditions Janne

Corax www3.utsidan.se/corax-e/

荒野のサイクリスト 安東浩正

www.tim.hi-ho.ne.jp/andow

2wheels: The Return Edward Genochio

www.2wheels.org.uk/return/

¹ NPO 法人 ABC 野外教育センターのホームページ作成(www.npoabc.kuronowish.com)、「ユーラシア大陸14度の旅」のホームページ作成及び運営(www.14degrees.org)

² 2006年 APUの学生団体「劇団・絆」によるミュージカルの主役、ニュージーランドのカンタベリー地域独唱コンクール入賞

ルートの地図

